

“里海”としてのアマモ場の再生



▲みんなで苗のポットを植えていきます♪

令和元年10月26日(土)

鹿児島地区漁業士会さんの運営で、「“里海”としてのアマモ場の再生」が、吉野町の磯海水浴場にて開催されました。

まずはアマモ場が海の中でどのような役割を果たしているのか、説明を聞きました。そのあとは、着替えていよいよアマモの苗を植えていきます。自然に還るポットに事前に種を植えてあり、少しだけ芽が出ているものもありました。深いところは漁業士会の方がウェットスーツを着て海に潜り植えて、参加者は水中ドローンでその様子を見守りました。そしてみんなで浅瀬にも植えていきました。今年は水温が高くアマモの種がほとんど発芽しなかったようですが、海の中で力強く成長して、沢山の生き物の産卵や餌場、隠れ家となる藻場に成長して欲しいですね！



▲今年は水温が高くあまり発芽しなかったそうです。



▲ポットを植えていきます